

○議長（明和善一郎君） 3番 吉川孝弘君。

○3番（吉川孝弘君） おはようございます。

私のほうからは、テニスコート照明設置についての一般質問をさせていただきます。

テニスは天皇陛下がたしなまれるテレビ映像などでも知られるように、国民にはよく知られたスポーツであり、近年では錦織選手が世界ランキング5位、オリンピックでメダル獲得などの活躍により、世界を目指せるスポーツとして若者たちに大変人気があります。また、オリンピックやパラリンピックで採用されている競技であり、年齢、性別、身体的個性を問わず、広く親しまれるスポーツです。

舟橋村でも総合型地域スポーツクラブを核とする活動を支援しており、舟橋会館、学校施設、京坪川河川公園、村営テニスコート、舟橋村立図書館等の施設を中心として総合型地域スポーツクラブが核となって生涯学習・スポーツの充実に努めております。

村内のスポーツ施設の夜間の利用状況を見てみますと、2016年にオープンした常願寺川公園スポーツクラブや小学校グラウンド、室内競技においては小学校体育館、中学校体育館が使用でき、サッカー、野球、その他ほとんどのスポーツが可能となっております。全天候型のすばらしいテニスコートでありながら、薄暗くなると使えなくなることは、まことに残念であります。

舟橋中学校でも平成17年度から部活動として取り入れて、富山県下では硬式テニスは5校の中の1校となっており、部員数も全校生徒の約3分の1の40名を占めて人気のあるスポーツになっております。25年、26年には女子は県大会出場、27年秋には北信越出場と躍進しております。

中学校の指導者に伺ったところ、大会などが近づき練習を多くしますと薄暗くなり、テニス球が顔面に当たるなどして大変危険な状態になるとのことでした。このために、安全面としての照明が必要であると思います。

また、子育て共助の延長線上には、村民がコミュニケーション、地域交流に参加することが村の活性化につながっていくものと思います。その中で、テニスコートに照明がつくことにより、仕事を終えた指導者や地域の方から自尊心、技術、感謝の心などを自然に学べるよい機会が生まれてくるものと思います。一般の人たちも仕事後のスポーツにおけるリフレッシュ、交流におけるコミュニケーションなどが生まれます。

また、練習時間を増やしたい学生は村外の照明完備のテニスコートに、時間をかけていっているのが現実であります。

これまで照明による稲作などへの影響が大きかったように聞いておりますが、コート周辺では、平成30年を目指しての認定こども園開園を目指す保育事業、公園事業、住宅事業などの計画がなされています。

照明施設がある小学校周辺でリサーチしましたが、照明による弊害はどの住宅からも聞かれず、夏場の虫なども照明のほうに行くので問題はないとの返答でした。

ここに、この、テニスクラブによる署名（書類を提示）、村内の人、あと、FJクラブを核として100名出ております。

子育て世代や若者たちが集まり、活気があり、舟橋村の魅力あふれる環境になるようテニスコートの照明の設置について村の考えをお聞かせください。

○議長（明和善一郎君） 教育長 高野壽信君。

○教育長（高野壽信君） 3番吉川議員さんのご質問の、公園のテニスコートの照明の設置についての重要部分は担当の生活環境課長より答弁がありますが、質問内容の中にテニス部の活動の際の危険性についてのご指摘がありましたので、教育現場の立場から現状について述べさせていただきます。

ご存じのように、テニス部は、村民の皆様のご理解のもと、届け出ではありますが、優先的に公園のテニスコートを使用させてもらっています。

先ほど人数を言われましたが、現在3年生が引退しておりますが、昨年4月現在で40人と一番部員数の多い部活動です。活動時間は、他の部活動と同じく3月から10月までは17時30分まで、11月から2月までは17時までとなっております。ただし、県大会などに参加する場合は、大会当日の2週間前から1時間の延長を認めています。

全ての部活動の指導者は、限られた時間の中で常に事故のないように万全を期した指導を心がけておりますが、議員さんの質問にありました、薄暗くなると大変危険な状態になるとの指摘は当然のことです。特に、県大会の練習に向けて少しでも多く練習したい9月中旬から10月中旬にかけて、薄暗くなるのが早く、十分な練習や後片づけをする時間もないとの報告も受けております。照明があれば、時間に余裕が持て、今まで以上に充実した部活動を実施できるのは確かです。

最後に、通告書にありましたが、現在、中学校にテニスの強化選手はいないと認識しております。

以上、学校の現状について述べさせていただきました。

○議長（明和善一郎君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 3番吉川議員さんのテニスコートの照明設置につきまして、本村の総合戦略に掲げますまちづくりの観点からお答えいたします。

テニスコートの周辺は、子育て共助のまちづくりモデルエリアといたしまして、京坪川河川公園の隣接地に、認定こども園や子育て世代向けの賃貸住宅等の整備を予定しております。

このモデルエリアにおける共通キーワードは、共助コミュニティの醸成であります。また、共助コミュニティとは、生活するために必要な地域内で住民同士の支え合いのための緩やかなつながりであり、特定の趣味や活動を行うためのコミュニティを指すものではありません。

もちろんスポーツ交流など特定の活動目的を有するコミュニティも大変重要なことでありますので、多くの方がいろいろな取り組みをされることを否定するものではありませんが、体制が異なることをご理解いただきたいと思います。

また、テニスコートは、中学生以外に村内外の一般の方も利用されていることから、子育て世代向けの賃貸住宅の近くにナイター照明が設置されれば、明るさや周辺の騒音などの問題も懸念されて、安心して子育てができる環境づくりに逆行することが考えられるのであります。

ナイター照明の設置につきましては、今後選定いたします、賃貸住宅に係る事業者や保育園を運営いたします富山Y M C Aと十分に協議・検討してまいりますので、ご理解をお願い申し上げまして、答弁いたします。

○議長（明和善一郎君） 吉川孝弘君。

○3番（吉川孝弘君） 子育て共助の地域となっていると言われましたが、照明がつくことによって、ついても9時ぐらいたとは思いますが、その間は明るく、子どもたちも外で安心して遊べますし、住宅に関しましても、最近の家はサッシなど遮音性もよくなっており、明るさも、カーテンを閉めれば別に問題はないと私のほうは感じております。

ぜひともまた照明のほうをご考慮いただくようお願いして、私の質問とさせていただきます。

ありがとうございます。

○議長（明和善一郎君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 吉川議員さんの再質問の件につきましては、今後十分に協議をしていきたいというふうに思っております。

また、単にナイター照明を設置するわけではなく、本当に子育てにやさしいテニスコートの運営を含めているいろんな方の意見を聞きながら前向きに進めたいと思っております。

以上です。